

【 第4回 U-22東アジア選手権 】

2016年7月3日～7月10日 中国・蘇州

試合結果報告 7 月 5 日 (火)

J P N	VS	C H N (中国)
11	前半	19
13	後半	15
24	合計	34

個人得点

名前	前半	後半	第1延長	第2延長	合計
榎 和 奏					0
金 山 桃 歌					0
林 玲 花					0
浜 真 尋	1	1			2
吉岡 紗耶	3	5			8
行本 朱里	2	0			2
並木 梨紗	1	0			1
中村 風夏	2	2			4
中山 佳穂	0	3			3
金城 ありさ	2	1			3
八田 桃子	0	1			1
					0
					0
					0
					0
					0
					0
合計	11	13	0	0	24

戦評

初戦は、地元中国との対戦。日本のスタートは、LW吉岡、LB林、CB浜、RB金城、RW中山、PV行本、GK榎でオフェンスからのスタート。立ち上がりから日本は堅さが見え、中国に3連取される。日本もNo. 5吉岡のサイド、No. 15金城のステップシュートが決まり、2-4。DFから速攻の展開に持ち込みたい日本だったが、DFの連係ミスなどでなかなかリズムがとれず、中国に5連取される。前半14分過ぎからすこしずつDFが機能し、No. 5吉岡、No. 4浜、No. 13中村のシュートで4連取し、7-10と追い上げる。その後、日本の攻撃でのミスや退場者により、中国に連取され11-19で前半終了。

後半立ち上がりDFからNo. 5吉岡、No. 17八田の速攻で連取し日本の流れになると思われたが、日本のミスから相手に逆速攻を許し、なかなか点差を縮めることができない。日本は、タイムアウトを請求し、自分達がやるべきことを確認した。その後、セット攻撃からNo. 14中山のロングシュート、No. 5吉岡のサイドシュートで追い上げを見せるが、24-34で試合終了。DFでの連係、速攻への展開などを再確認し、明日の韓国戦に臨みたい。

報告記入者：

辻 賀奈子